

指導者が学ぶべきこと

大阪府

上甲 しょうこう
晃 あきら



「新しい時代の日本の未来を拓くにふさわしい指導者を育てたい」との已むに已まれぬ松下幸之助の思いで、昭和55年（1980）から発足した松下政経塾。私は縁があつて、およそ10年間、現場の教育責任者とも言うべき塾頭

の立場にあつた。

「エリート中のエリート」と世間にもてはやされ、「日本の未来を背負うリーダーになるのだ」と胸を張って入塾してきた塾生諸君は、入塾したら、きつと高度で専門的、最先端の学びができる胸を膨らませていた。

その塾生たちに向かつて、松下幸之助は、「立派な指導者になるためには、誰よりも早く起きて、身の回りの掃除をしっかりと励むこと」と言った。そして塾に来るたびに、「君たち、しっかりと掃除しているか」と聞いた。

塾生たちは、「はい分かりました。明日からしっかりと掃除をします」とは言わなかった。「そんな雑用をしていたら、肝心の勉強の時間がなくなる」と反発した。私

は、「しっかりと掃除をしない」という塾長の松下幸之助と、「掃除のような雑用をしている間がない」と反発する塾生との間に立つて、大いに苦しんだ。

その苦しみがあつたからこそ、私は、鍵山秀三郎さんと出会うことができた。

松下幸之助は教えた。

「知識や技術は、しよせん人生の道具である。その道具を使いこなすために、何より、本人の人間性を高める知恵を磨かなければならない。知恵は、現地現場で実践を通じ、心に刻み込むものだ。」

みんなのために身をかがめ、一心不乱に、汚れた所をきれいにする掃除の実践は、指導者がしっかりと身に付けなければならない、最も大切な知恵の一つである」と。

ひとつ拾えば ひとつだけきれいになる

静岡県

白鳥しらとり

宏明ひろあき



掃除は誰もが知っています。しかし、トイレ掃除の経験のある方はどれくらいいるでしょうか。

私たちは、他人様のところのトイレをお借りして、自らの心

を磨くために掃除をさせていただいています。掃除を通じて、自分と向き合う「動く坐禅」というのもよいかもしれません。

過去トイレ掃除を行ってきた方は歴史上何人もいましたが、「市民権」を持たせるまでに至った人は、私の知る限り鍵山秀三郎氏ただ一人だろうと思います。

私は鍵山秀三郎さんに出会い、「鍵山掃除道」を実践する中で奇跡のような出来事を体験してきました。社員が穏やかになるにつれて社風が良くなり、それに伴って業績も回復していく。荒れた学校が更生し、街頭清掃では街の犯罪率が劇的に下がる。地域で掃除をする人も増え、良い人が集まるようになりました。

日本を美しくする会は、「掃除

を通じて心の荒みをなくし、社会を良くしていきたい」という心願を立て、30周年を迎えました。鍵山氏の思いを後世に伝え、掃除がこんなにも楽しく素晴らしいものということをも、一人でも多くの方に知ってもらい、実践いただけることを願ってやみません。

鍵山掃除道は、アジアやヨーロッパにも広がっています。サッカーのワールドカップで、スタジアムの掃除をした日本人のことが世界で称賛されました。掃除は古来、古事記や和歌にも歌われる日本の誇るべき伝統・文化であり財産です。

「ひとつ拾えばひとつだけきれいになる」。ゴミひとつ拾うことから始めてみましょう。

(414-0045静岡県伊東市玖須美元和田729-36)

最高の仲間 掃除に学ぶ会

長野県

宮之本 伸



2014年2月20日、鍵山掃除道50周年記念大会に、友人に誘われて参加し、それから毎月新宿渋谷の街頭清掃に参加しました。(写真右)

「今日は、鍵山相談役とお会いできるかなあ」とワクワクしながら通っていました。「相談役、そん

なところで側溝の掃除をしていたら車にひかれてしまいますよ」なんて思ったこともありました。

2015年首都圏を離れた後も、掃除ができる場所を半年探し、小布施掃除に学ぶ会に入会しました。その後も転職を繰り返していますが、小布施の会での活動は続いています。

今は縁あって、松本市の副市長をしています。片道80km、2時間半、小布施町の栗ヶ丘小学校に通っている理由は、掃除の仲間がいるからです。同じ志を持つ仲間と一緒に掃除をしていると、とにかく楽しいのです。これは、言葉では表現できません。

今まで私は、自分でゴミを拾ったりトイレ掃除はしていましたが、活動を広めていくことにはあまり

関心を払っていませんでした。

しかし、掃除の大きな力を知った今、他人に伝え活動を広げることが命題だととらえています。

現在、長野県南部には、掃除に学ぶ会がありません。この拠点作りを目指します。

コロナ禍で、全国で多くの組織が休眠状態になりました。

能、香道、華道、茶道の中にも、いろんな困難や危機を乗り越えて、今まで伝わっているものもあれば、残念ながら減びてしまったものもあります。掃除道が栄えるのもすたれるのも、それはひとえに我々が掃除道を広めるかどうかにかかっています。

我々が実践し、行なっていくところに鍵山掃除道はあるし、行なわれないとなくなるのです。

凡事徹底の継続

千葉真

利とし
和かずのり則



1993年5月、㈱ローヤル様を訪問し、鍵山社長にトイレ掃除をご指導いただきました。

私はそれまで週1回1時間早く出社してトイレを掃除しておりましたが、それは会社での立

場上やっていたもので、しかも自己流でした。

鍵山様は、社長とは思えない、作業着でズボンをまくり上げて私たちの前にお立ちになり、なんと素手で便器を磨き始めました。「目からウロコ」とはこのことでした。

掃除道具は、私たちが会社で使っていた、ほうきや塵取り、ホース、柄つきブラシなどはなく、種類も多くありました。1時間ほどでしたが、便器はピカピカで、新品のように感じました。

私どもの会社は不況知らずのIT業界で業績を伸ばしていました。早くから掃除に取り組んではいたものの、有頂天になって気が緩んでいたのか、「お客様接待」で掃除どころではない

役員も出始めていました。そんなときにバブル崩壊です。業績は急降下し、会社存続の大きな危機を迎えました。

そんな状況下、ローヤル様の「徹底した掃除」に学ぼうと、幹部8名での訪問でした。鍵山様の「掃除をおろそかにすると会社をつぶす」というお話に戸惑ったのを覚えています。

以来、毎朝5時30分から駅前清掃、社内清掃、会社周辺の清掃を今日まで続け、30年が過ぎようとしています。

「掃除の五徳」―「謙虚な人に、気づく人に、感動の心、感謝の心、心を磨く」には、凡事徹底を続ける力が備わるようです。

(274 0067 千葉県船橋市大穴南2-32-28)

「二期一会」を活かせました

島根県

おたわ
大多和

あきひろ
聡宏



2002年5月、鍵山先生の講演を初めてお聴きしました。

予備知識のない聴講でしたが、平凡なことを非凡に努める凡事徹底の実践の数々を聞いて、「こんな人があるとは……信じられない！」と感動しました。本来感動

とは「感」じて「動」くものですが、私は感じたものの動かず、月日と共に鍵山先生は遠い存在になっていきました。

3年後の2005年8月、トイレ掃除に取り組む校長先生の講演を聴きました。その数日後、地元の掃除に学ぶ会の代表の方からいただいた電話をきっかけに、隣県に來られた鍵山先生と一緒することができました。

爾來ご縁をいただき、翌年9月、鍵山先生に本校に來ていただき、ご講演と掃除指導をしていただきました。真剣に考えると、意識しているということであり、何となく考え行っていたのでは徹底しないことに気づき、そして反省しました。これを機に、著書を次から次に読み、掃除の実践も少

しずつ形になっていきました。

2009年8月、再び來校いただき、2011年から鍵山先生と学ぶ「求根塾」に入塾しました。掃除だけでなく、人の上に立つリーダーのあり方、生きる上での「根っこ」など、数えきれないほどの教えと気づきをいただきました。

一世の中には、「二期一会」をしつかりキャッチできる人もいますが、できない人もいます。むしろ、後者の方が多いのではないでしょうか。私のように「二期一会」を活かしそこないかけた者でも、人様のおかげで、人生の師にご縁をいただいたことに深謝しています。この恩恵に感謝し、ご縁をつなぐお役を果たしていきます。

(90)0017 島根県松江西市西津田10-17-23(9)

「鍵山掃除道」の 出会いと気づきに感謝

埼玉県

中村 なかむら

孝明 たかあき

私は、2018年から「埼玉掃除に学ぶ会」代表世話人を仰せつかっています。毎日の経営の中でも、掃除をずっと続けてきました。協力してくれた社員や友人知人、お客様・学校・PTA関係者・役所の皆さまがいたからこそ、続けてこられたと思います。

1994年11月「埼玉掃除に学ぶ会」が発足。前年の11月、岐阜県大正村で第一回全国掃除に学ぶ会が開かれたとき、埼玉倫理法人会の蓮実利勝会長が、初代代表となる田中啓一幹事長を派遣されたのがきっかけです。

法人会から広がったために会員は多く、1996年さいたま市氷川神社での大会には、1300名を超える人が集まりました。

その後「日本を美しくする会」に登録し、1997年5月第一回「埼玉掃除に学ぶ会」を浦和高校で開催しました。10回以上打ち合わせを行なって、大会は成功しました。その後の心地よい疲労に大きな達成感と感動は、忘れられない思い出です。

県内各地で街頭清掃や幼稚園、小・中・高校のトイレ掃除を行なってきました。2013年4月に始めた「大宮駅前街頭清掃」が、翌年「さいたま市ロードサポーター」団体に公認されたことも嬉しい思い出です。

東北震災では、埼玉便教会と

合同で被災地支援ボランティアに行きました。トラックに小型トラクターや草刈り機を満載して、参加しました。悲惨な環境の中、被災者に寄り添いお役に立てた感謝は未だ消えません。

鍵山掃除道の「気づき」と、他者を活かすことが自分を生かす「他利自利」という心の宝物に巡り合えたことは幸せでした。

会社では、気持ちよい挨拶が交わされ笑顔が増えて、雰囲気が変わりました。掃除に参加されるお客様もおられます。学校行事や神社祭礼にも掃除を通じて協力し、地域にも輪ができました。「鍵山掃除道」のお陰であり、感謝でいっぱいです。

痛苦、骨を嘯む

大阪府

池永 いけなが

重彦 しげひこ



心の甘さゆえ、経営していた会社が不祥事で危機に陥りました。鍵山相談役にご報告したところ、「痛苦、骨を嘯む」と言われました。「骨に達するほどの痛みを受けなければ、わからない」との意味ですが、実に厳しい言葉

です。しかしすぐに、「私もそうしてきました」、と相談役は仰いされた思いがしました。この言葉は、今もくり返し私を支えてくれています。

私は、掃除を中心に置いて生き直すことにしました。すべてをぶつけるかのように取り組んでいきましたが、だんだん「こうでなければならぬ」という形に囚われだしました。掃除に学んでいるが、何か自分が特別のことにしているかのような、独りよがりな掃除をしていました。このことは、新大阪駅前28年間毎朝お掃除をされている山本健治さんに教えられました。

山本さんは命を慈しむように、草を抜かれません。決して「雑草」

とは言われません。草を抜くことは命を絶つことです。命を大切に言いながら、なぜ私は草を抜くのか、なぜ抜く草を選ぶのか。すぐに言い訳をしようとする自身の浅はかさや、いやらしさを見つめます。そして人間は他の命を奪いながら生きていくことに気づきます。掃除は、心を磨くとともに、思索の時間になりました。

鍵山相談役が拓かれた道は日本中、世界中に拡がり、それぞれの道友の人生を支え、しかも互いが学び合っています。すべては鍵山相談役から始まりました。

私は生き直しをしています。これからも掃除に学び、心を磨き、愛を伝えるように生きていきたいと思えます。

(553 0003 大阪市福島区福島1丁目1-48 4106)

よい習慣を身につける

宮城県

太田 おおた

昌浩 まさひろ



30年前、東京銀座のレストランで食後正面に座っていらっしやる方に、「タバコ吸ってもよろしいでしょうか」と伺ったところ、「どうぞ」と。一服吸ったその瞬間、その

方は微笑んで「吸った煙は吐かないでください。私を巻き込まないでください」と言われ、グウーと飲み込みました。その方は鍵山秀三郎様でした。帰る際に「良い習慣と悪い習慣、どちらを持つかで人生は大きく変わります。太田さん！ 良い習慣をお持ちください」と。この貴重なお言葉は生涯忘れません。

2002年東北ブロック長伊藤信幸様のお誘いで、宮城掃除に学ぶ会に入会しました。以来2021年2月までの20年間、代表世話人をさせていただきました。この間全国各地の大会に参加し、掃除の学びと多くの方との交流は、私の人生を根底から変えました。2010年11月の「徳之島掃除に学ぶ会」(利哲雄会長の

故郷)では、警察、消防、病院の関係者、高校野球部員、お掃除仲間15名など、総勢100名が参加されたのには驚きました。子どもたちは、幼少時から自分の何十倍もある大きな闘牛の世話をしているため、トイレ掃除に抵抗なく励んでいました。その姿に、掃除道の原点「素直に学ぶ」大切さを痛感しました。

翌年3月、東日本大震災が発生。二十数メートルの大津波が三陸沿岸一帯を襲いました。日本を美しくする会東日本救援隊の皆様は、石巻専修大にテントを張り、3か月間被災者を支援され、生きる力と勇気を与えてくれました。11年後の今、改めて厚く御礼申し上げます。

(980-0013 宮城県仙台市青葉区花京院2-1-61)